

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

1 会議名	加納高等学校 学校運営協議会（ゆめ会議かのう）（第2回）		
2 開催日時	令和7年 11月 14日（金） 15：00～17：00		
3 開催場所	加納高等学校 校長室		
4 参加者	会長 高橋 利行 池田町教育委員会教育長 副会長 大宮 康一 岐阜大学准教授 委員 小島 紀夫 （公財）岐阜県教育文化財団総合プロデューサー兼 支配人 嘉根 礼子 サラマンカホール支配人（欠席） 杉本 昭一 アデコ株式会社未来仕事共創部 ソーシャルイノベーション課 課長 平木 一弘 加納西自治会連合会代表 水野 律子 加納まちづくり会会長（欠席） 加藤 里栄 PTA会計		
学校側	高橋 宗彦	校長	
	須藤 亜由子	教頭	
	小森 久美子	事務部長	
	藤垣 美奈子	教務主任	
	藤田 英博	普通科主任	
	青木 智宏	研修主事	

5 会議の概要

（1）加納高校の現況等（生徒および保護者に対するアンケートから）

意見1：いじめに対する対応について、生徒は対応していると回答しているのに対して、保護者は対応していないと評価に差が認められる。保護者の学校に対する安心安全な環境への要求はかなり高いと想定できる。情報発信のあり方も含めて、どうやって保護者に安心安全であるか理解してもらうための工夫が必要である。

意見2：情報発信は十分行っている。発信した内容の対象が明確になっていればよい。発信しても対象者が拾おうとしない可能性もあるので、情報発信の量ではなくて、届けたい対象者に届けたい情報が届いていればよい。

意見3：何のために情報発信しているかが大切である。目的が明確であれば対象者がより安心する可能性がある。また、社会活動に参加するなど社会とつながる学校を目指すことで、周囲から信頼される学校との評価を得て、安心安全な学校への信頼感が増すと考えられる。

意見4：生徒からみてハラスメントやいじめの件数が少ないからよいとはいえない。ハラスメントだけでも20件ほどある。あるということも見つめてほしい。たまたま、卒業生と会話する機会があり、卒業生はよい学校と言っていた。こうした卒業生

の声を広げられるとよい。

意見5：体罰やハラスメントの項目で、生徒が回答していることについては、取り上げることが必要。しかし、生徒、保護者のアンケート項目の中でもまったくあてはまらないが0の項目が2つあることはよい事である。

意見6：入学してしまうと生徒の方が案外、学校の価値について知らない。生徒も保護者も受験する際にかなり学校情報を集め検討した。生徒が卒業した時、後から自分の学校がよかったですと思えるとよい。

(2) 音楽科について（白梅コンサートの見学）

音楽科の演奏会に參加した。

6 会議のまとめ

安心安全な学校運営について、ハラスメントやいじめ対策が大切であることをあらためて確認した。情報発信は回数ではなく、その目的も検討することが必要であると確認した。次回はSHOW文化祭の活動を参観し、意見を聴取する。